

2014年10月1日
NTT アイティ株式会社

クラウド型遠隔健康相談サービス
「ひかり健康相談」光 BOX⁺版をリリース
～大きなテレビ画面で視認性よくご利用可能に～

NTT アイティ株式会社（本社 横浜市中区、代表取締役社長 長谷雅彦）は、2011年9月から提供してきたクラウド型遠隔健康相談サービス「ひかり健康相談」を、西日本電信電話株式会社（本社 大阪府大阪市、代表取締役社長 村尾 和俊）が提供するテレビ向けセットトップボックス「光 BOX⁺（HB-1000/情報機器）※1」対応版アプリケーションとして、2014年10月6日より提供を開始いたします。

これまでのスマートフォン／タブレット版の簡便性に加え、大きなテレビ画面を利用できる視認性のよい光 BOX⁺版がラインナップに加わり、ご利用環境に合わせてお選びいただけるようになりました。

また、「ひかり健康相談」光 BOX⁺版は、「CEATEC JAPAN 2014」（10月7日～11日 幕張メッセ）に出展いたします。

※1 光 BOX⁺ (<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/hikaribox/>)

テレビに接続してインターネットや動画が楽しめる情報機器。本製品によるインターネット利用には、「フレッツ光」等のブロードバンド回線、および対応するプロバイダーとの契約・料金、ルーター等が別途必要です。

■ ご提供開始の経緯

NTT アイティでは、歩数や血圧、体重等の健康データをスマートフォン／タブレットで簡単に自動登録でき、テレビ電話で相手の顔を見ながら適切な健康アドバイスが可能な「ひかり健康相談」を、2011年のサービス開始以来、自治体など様々なフィールドでご利用いただいております。

これまでのスマートフォン／タブレット版では、「画面が小さい」という声が高齢者から寄せられていました。今回発売を開始する「ひかり健康相談」光 BOX⁺版では、ご家庭のテレビの大画面で視認性よく、ひかり健康相談アプリケーションがご利用いただけます。

また、「光 BOX⁺」上で利用可能な映像コミュニケーションアプリ「LivyTalk For 光だんらん TV ライト※2」（株式会社ソフトフロント社製）を用いて、テレビ電話による健康相談を実現します。

※2 「LivyTalk For 光だんらん TV ライト」のご利用には、「ひかり電話」の契約が必要です。

■ 「光 BOX⁺版」の主な特長

- 「光 BOX⁺」をテレビに接続することより、テレビの大画面でご自身の健康データが簡単に閲覧できます。
- 「光 BOX⁺」向けに提供しているアプリ「LivyTalk For 光だんらん TV ライト」との連携により、健康データの閲覧と映像コミュニケーションが可能です。
- 登録したデータは、端末ですぐに確認できます。

■ システムイメージ

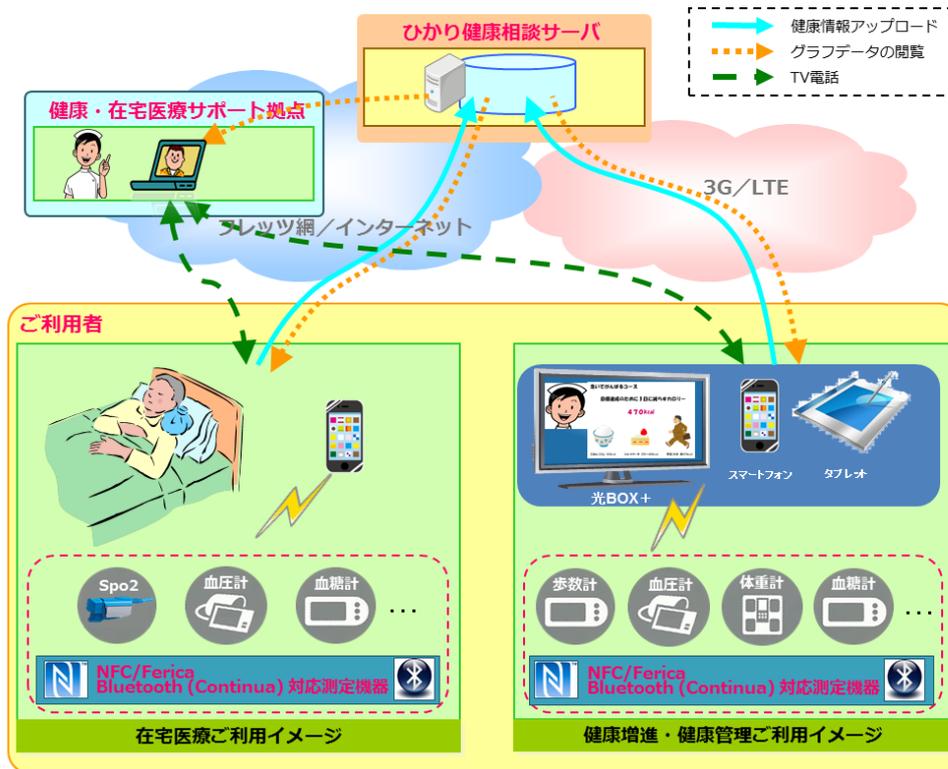


図 1 システムイメージ

※ 1 NFC : Near Field Communication (近距離通信) の略称

※ 2 FeliCa : ソニー株式会社が開発した非接触型 IC カードの技術方式 (ソニー株式会社の登録商標)

※ 3 Continua :

Continua Health Alliance の Continua を指し、パーソナル・ヘルスケアの質的向上のために、健康機器や医療機器のデジタル化促進と通信規格の統一を目標に設立された非営利団体

■ 「ひかり健康相談」サービスの利用用途

- 自治体での健康増進事業における健康データの活用や地域コミュニケーション活性化
- 医療データ以外での健康情報の参照による細かなアドバイスや医師間での情報共有
- テレビ電話を利用した遠隔地での健康相談や保健指導などへの活用
- 今後増加していく在宅医療分野での活用

■ ご提供開始時期

2014年10月6日(月)より提供を開始いたします。

■ ご利用料金 (税別)

初期費用 400,000円～

月額利用料

- ・テナント利用料金 59,800円/月
- ・サービス基本利用料 390円/月・ID～

■ 利用形態

公的施設

公民館や地域のコミュニケーションセンタなどに設置し、地域の住民で共同利用します。

会社

会社の健康管理室などに設置、社員で共同利用します。

スポーツクラブ

スポーツクラブの会員で共同利用します。

「ひかり健康相談」は NTT アイティの登録商標です。
その他の商品名は、各社の商標または登録商標です。